

KN グローカルリサーチレポート

2023年4月
No.84

新年度が始まりました。例年よりも暖かい日が続き、早い桜の
開花となりました。

●統一地方選挙

浜松市長選挙、浜松市議会議員選挙、静岡県議
会議員選挙が始まっています。

平成 19 年は各区から市議を選ぶ初めての選挙
でしたので、各区の投票率は 65 %を超えました。
平成 23 年、平成 27 年と投票率は減少し、平成 31
年は「区再編の住民投票」が有りましたので投票率は若干増加しました。

投票日は 4 月 9 日(日)です。7 区での選挙は今回で最後となります。期日前も利用し、投票
しましょう。

■表1 投票率の推移(浜松市議会議員選挙)

	H19	H23	H27	H31
中区	65.4	51.1	50.2	54.0
東区	65.8	52.1	51.2	54.4
西区	71.3	62.0	60.5	62.0
南区	65.1	51.5	50.9	56.0
北区	67.4	56.8	53.5	57.9
浜北区	無投票	58.9	53.9	無投票
天竜区	77.9	70.1	68.5	無投票

市選挙管理委員会の資料より作成

SBT 温室効果ガス削減目標

前回までの本ニュースレターで、各企業の脱炭素
経営に向けた取り組みとして TCFD (気候変動に関する
情報開示の仕組み) があり、それを英国の NGO で
ある CDP が評価・分析し公表している事をお伝えし
た。



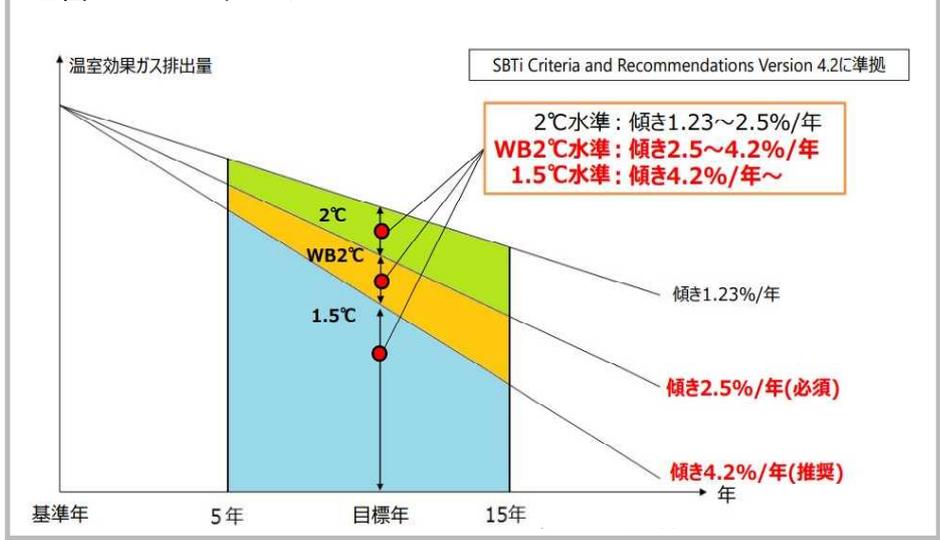
●温室効果ガス削減目標

SBT (Science Based Target)
とは、パリ協定が求める水
準と整合した、5 年～ 15 年
先を目標年として企業が設
定する温室効果ガスの排出
削減目標で、毎年 2.5 % 以
上の排出量の削減を目安と
している。

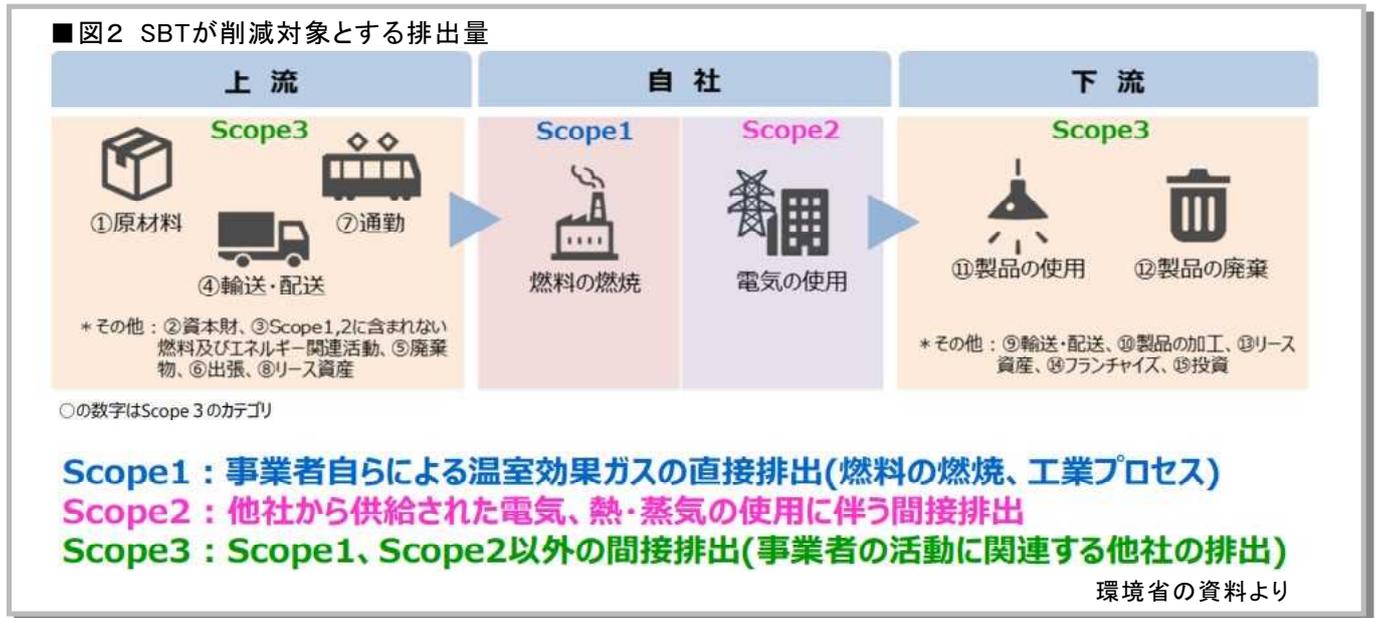
日本では「脱炭素社会の
実現に向けて 2050 年までに
温室効果ガスの排出を全体

としてゼロ(=カーボンニュートラル)にする」(2020 年 10 月 26 日 菅総理大臣 所信表明演説)としている。

■図1 SBTのイメージ



SBT では、一つの企業だけでなく、サプライチェーン全体での温室効果ガスの排出量削減が求められる。



昨今、取引先企業から SBT 認証の取得を求められる企業が増えてきている。中小企業版の SBT もあり (取得費用 US\$1,000)、ハードルが低く設定されている。



[SBT認証の申込 ↑](#)

浜松市の、創エネ・省エネ・蓄エネ型住宅・EV 推進事業費補助金 令和5年度予算より

浜松市では令和5年度も、脱炭素社会の構築を目指し、家庭における「創エネ」、「省エネ」、「蓄エネ」等に関する設備の導入を促進するため、総額で1億1,700万円の予算で、表2の補助事業を行う。

なお、昨年度は、総額が1億円で、補助金の申請申込は5月の連休明けから始まり、予算が無くなり次第終了となった。

■ 表2 補助内容

対象設備	補助金額(定額)	想定件数
1. ZEH新築等	30万円	100棟
2. 蓄電池	10万円	600件
3. V2H対応型充電設備	10万円	30件
4. 燃料電池コージェネレーションシステム	6万円	100件
5. 太陽熱利用システム	2万円	50件
6. 太陽光発電システム	2万円	400件
7. 電気自動車	6万円*	250台

*上限金額
浜松市の予算書より作成

【問い合わせ】浜松市カーボンニュートラル推進事業本部 ☎ 053 - 457 - 2502



また、国の補助金として、令和5年3月末現在で、「1. ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)新築等」に最大100万円や、「7. 電気自動車」に最大92万円がある。

2023年3月24日執筆 [バックナンバー](#)



***** お問い合わせ *****

西川公一郎 ((一財)日本総合研究所 客員研究員、防災士、元浜松市議会議員)

浜松市南区 在住 ko-ichi@24kawa.org